



HandaCity

NO.233

※表紙写真は合成です。



はんだ市議会

2024年9月1日発行

HEADLINE

- 一般質問、9人が市政を問う!
- 令和6年第5回定例会審議結果
- 各委員会の年間調査テーマ
- 令和6年第6回臨時会審議結果

だより



半田市議会広報へ

市政を問う

一般質問



6月定例会における市政に関する一般質問は、6月18日から20日に行われ、9人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。（質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です）

※質問、答弁の詳細は8月20日頃から半田図書館・亀崎図書館等に配置された会議録でご覧いただけます。
また、市議会ホームページにも掲載します。
※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

市政を問う
一般質問（質問議員が執筆しています）



田中高久
（創造みらい半田）



市民討論会のこれから
在り方

問 現状の参加者募集に
関する広報の方法につ
いて伺います。

実行委員会の協議によ
り、市民の中から無作為で
抽出し、案内の送付を行
いました。

問 無作為抽出で募集
した後の参加者に偏
りが出た場合の対応
について伺います。

参加者に偏りが出た場
合、実行委員会と協議し、追
加発送を検討します。

問 昨年度の参加者の傾
向について伺います。

昨年度は50名の参加があ
り、各年齢層から満遍なく
参加がありました。

問 様々な背景を持つ方
が参加できるような
広報の手法が必要だ
と考えますが、見解
を伺います。

特定の対象者に対する広
報については検討していま
せんが、託児や手話通訳な
ど配慮が必要な方が参加し
やすい環境整備は整えてい
きます。

問 市民討論会の効果と
成果について、また市
民の意見を受け止め
ることに力をいれて
いく方向について見
解を伺います。

提言した内容が事業化に
繋がったことや、昨年度の
参加をきっかけに別の事業
に参加するなど、当初の想
定以上の結果が得られまし
た。また、現時点では運用の
見直しは検討していません。



麻生七海
（公明党）



公共施設等における補聴環
境の整備による難聴者への
支援

問 携帯型磁気ループシ
ステムの貸し出しを
提案しますが見解を
伺います。

障がいのある方への支
援として、手話通訳や要約
筆記者の派遣を行っていま
す。磁気ループシステムの
貸し出しにつきましては、
現時点で導入する考えはあ
りません。

問 難聴者への対応とし
て、軟骨伝導イヤホ
ンを市役所の窓口
に設置するよう提案し
ますが見解を伺いま
す。

現在、窓口では筆談等に
てその方の状態に寄り添っ
た対応をしています。軟骨
伝導イヤホンの導入につき
ましては、導入効果の検証

や耳に直接触れる機器を利
用者間で共用することに対
する心理面も考慮に入れな
がら、導入自治体での利用
実態を調査したうえで判断
していきます。

問 65歳以上の高齢者で
難聴を有する方に対
する軟骨伝導イヤホ
ン購入費助成制度の
創設を提案しますが
見解を伺います。

全国市長会からは加齢性
難聴等の軽・中等度難聴者
の補聴器購入に対する補助
制度の創設、難聴と認知機
能低下との関連性の究明を
国に提言しているところで
す。現時点では制度を創設
する考えはありませんが、
今後国等の動向を注視し
ていきます。



問
児童センター機能の移行に向けて放課後ひろばと並走期間の設定を提案しますがいかがですか。

すべての児童が安心・安全に過ごせる環境の整備が必要と考え、「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ」、「児童センター」の機能を集約して、放課後の居場所の開設を目指すことになりました。移行決定の経緯は第7次総合計画にて小学校内に子どもの居場所を整備し、地域に適した施設の集約・複合化を進めることとしており、小学校建替時に統合することになりました。

問
児童センター機能の移行の決定に至るまでの経緯とその理由を教えてください。

子どもたちの居場所づくり

伊藤正興
(チャレンジャー)



乳幼児や未就園児は地域子育て支援拠点やこども園に併設されている子育て支援室などを案内していただきます。利用者の範囲については柔軟な運用が必要と考えており、地域のニーズの把握に努め、事業を進めていきます。

問
現在の児童センターの利用者はこれまでどおり放課後ひろばを利用できますか。また、地域の特性と実績に合わせた運用が必要と考えますがいかがですか。

小学校的建替に合わせて児童センター機能を学校内に移転し、新しくより良い環境が用意されるので放課後ひろばと並走期間を設けることは考えていません。

問
子宮頸がん検診の受診率と年代別の傾向はどのようですか。

令和元年度の定期接種者数7人、接種率は0.3%に対して、積極的勧奨再開後の令和5年度は定期接種者数319人、接種率13.8%と大幅に上昇していますが、依然未接種者が多いです。

問
対象年齢の女子の接種人数とキャッチアップ接種の対象者の接種人数はどのようですか。

子宮頸がんから子宮と命を守る取り組み

坂井美穂
(公明党)



取組みがさらに充実したものになるよう努め、SNSなどを活用した情報発信にも積極的に取組みます。

問
中学校でのがん教育やプレコンセプションケアにおいて、継続的に子宮頸がんの予防についての教育を推進する仕組みを作りたいと思いますが、いかがですか。

今後、HPV検査の導入の可否について検討します。

問
HPV検査を半田市においても導入すべきと考えますがいかがですか。

半田市では実施する予定はありません。

問
子宮頸がん検診を受診していない女性に、HPV感染状況を調べられる検査キットや着用したままで受診ができる、不織布パンツを配布してはどうですか。



まちに関わる人が、自分事としてまちづくりについて、考えていただく必要があります。ワークショップを通じて、まずは中心市街地活性化に向けた気運の醸成を図り、そこでの成果である、みんなで思い描いた未来イメージをPRすることで、今後自ら主体的に動くとするプレイヤー仲間を増やしていくことです。

問
半田市中心市街地コンセプトブックと夢の未来図は何を目的として作成されましたか。

まちの顔づくり・中心市街地エリアの魅力を高める仕組みづくり

山本裕介
(創造みらい半田)



問
今年度作成する「中心市街地活性化基本計画」にコンセプトブックや夢の未来図はどのように活かしますか。また、知多半田駅東ロータリーリニューアル基本構想策定のプロポーザル契約がされましたが、今後どのようなスケジュールを予定していますか。

コンセプトブックや夢の未来図すべてを実現させるものではありませんが、それぞれのエリアの個性や、ビジョン、コンセプト、ワークショップで出た意見を参考にし、描いた夢が一つでも多く実現できるように取組めます。知多半田駅東ロータリーリニューアル基本構想については、多様な活用ができる魅力的な空間にするべく、交通量、駅利用者の分析とともに、市民ワークショップ等を開催し、令和6年度末に完成予定です。



竹内 功治
(創造みらい半田)



「デジタルシティ・はんだ」を目指した取組み

問 DXを活用して、幼児教育士や保育士の負担軽減を図っていますか。

各園の事務用パソコンが不足していますので全正規職員分を整備します。またタブレット端末も整備して、より業務の効率化を図ることで負担軽減に努めます。

問 子育て支援の充実に向けて、DXの活用をどう進めますか。

予防接種等の書ききの問診票をDX化することやアプリを利用しての子育て相談やオンライン申請等を広く伝えることで、DXの活用を進めていきます。

問 児童生徒の理解が深まりやすいデジタル教科書の利用を進めてはどうですか。

まず今年度は小学校、来年度は中学校の全教科の教員用教科書をデジタル教科書に切り替え、今後の本格利用に備えていきます。

問 生成AIを活用して、市民サービスの向上や職員の負担軽減を考えてはどうですか。

今年度、デジタル課で有料の生成AIアカウントを試験導入して活用の検討を行います。また契約しているDX推進アドバイザーの意見を参考に、市民サービスの向上を図ります。

問 「デジタルシティ・はんだ」の窓口である公式LINEの登録者数を増やす取組みは行っていますか。

様々な状況下において広報活動に努めています。



有留 麻由
(無所属)



災害時における避難行動要支援者への対応

問 避難行動要支援者名簿と個別避難計画の課題は何ですか。

個人情報提供の意向確認や作成した個別避難計画の実行性をどのようにして担保していくかが課題です。

問 個別避難計画をまだ作成していない方への働きかけはどのようにしていきますか。

今年度は民生委員に精力的に回っていただくように考えています。

問 個別避難計画が自記式なため、民生委員と顔を合わせていないことはありますか。

今年度からは自記式の方も顔を合わせて確認作業を行う予定です。

問 43か所の指定避難所は障がい者や高齢者を受け入れるスペースはありますか。

今後、指定避難所内に福祉スペースを確保し、福祉事業所に協力をお願いしていきます。

マイナバーカードと保険証の一本化

問 マイナ保険証未取得の方に對しどのような取組みをしますか。

保険証が廃止された後も特別な申請なしで資格確認証を送付していく予定です。

問 本市として、国に現行の保険証を残すことを求める考えはありますか。

ありません。国策でありますのでメリットになるよう全力で取組む方針です。



岩田 玲子
(創造みらい半田)



半田市の帯状疱疹ワクチン助成

問 80歳までに3人に1人が発症するといわれている、帯状疱疹のワクチン接種は、2回接種で約5万円弱の高額なものです。寝返りを打つことも出来ない程の痛みを伴う帯状疱疹ですが、市民の辛い状況や、助成があれば、との声は届いていますか。

80歳までに3人に1人が発症するといわれている、帯状疱疹のワクチン接種は、2回接種で約5万円弱の高額なものです。寝返りを打つことも出来ない程の痛みを伴う帯状疱疹ですが、市民の辛い状況や、助成があれば、との声は届いていますか。

帯状疱疹ワクチン助成の問い合わせは、接種費用の助成の有無や、助成制度創設の要望など、令和5年は、68件問い合わせをいただいています。

問 県内の帯状疱疹ワクチンの助成状況を伺います。

令和6年4月1日時点において、帯状疱疹ワクチンの助成を実施している自治体は、41市町村あり、全体の76%となっています。

問 最近の動向では、一回当たり一万円を2回接種分助成する自治体が多いようです。仮に助成した場合の費用を伺います。

接種対象を50歳以上とし、既に実績のある自治体を参考に、接種率を3.1%と想定した場合、年間約3千400万円の費用が必要となります。

問 帯状疱疹ワクチンの助成を行うべきと考えますが、半田市の見解を伺います。

現時点において帯状疱疹ワクチンの助成を行う考えはありません。



一般質問

市政を問う

一般質問

兄弟姉妹の別園入園は、保護者にとって、送迎や行事参加の負担が大きいことは承知しています。令和7年度の斉申込に向け、公平性に配慮しつつ、兄弟姉妹が同じ園に入園できるような調整方法を見直します。

問 兄弟姉妹が同一園に通えるように改善できませんか。

アンケート結果から、利用料への不満があることは認識していますが、利用料の見直しは行っていない。今後は、受益者負担の観点から、事業者と運営状況を確認するとともに、利用料の見直しについて協議を進めます。

問 放課後児童クラブの利用料について改善できませんか。

はたらく親を応援するまち

中村和也
(志民ネット)



他の地域の良い取組みを参考に、空き家を減らすための支援策を検討していきます。

問 空家に対する支援策を教えてください。

建物の外壁や屋根の破損、敷地内の草木の越境、動物の住み着きなどが見つかった場合、所有者にお知らせします。自主的な改善が見られない場合は、令和7年度から「管理不全空家」として、固定資産税の優遇措置(住宅用地特例)を解除するなどの措置を検討しています。法改正の内容は、市のホームページなどで周知します。

問 管理不全空家について、どのように対応しますか。

安心安全な住環境

審議結果 令和6年第5回定例会(6月18日~28日)

■全会一致の案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
41	令和6年度半田市一般会計補正予算第2号 総務：寄附金を活用し、消防団員が火災予防の啓発を行う際に配布する啓発物を購入するものなど 文教：高齢者等に対する新型コロナウイルスワクチンの予防接種費を補助するものなど 建設：企業版ふるさと納税を活用し、既設の公園3か所に健康遊具を設置するものなど
42	令和6年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計補正予算第1号 (資材の物価高騰等により委託契約料を変更するもの)
44	令和6年度半田市立半田病院事業会計補正予算第1号 (新病院の入院患者に提供する給食の食材の調達及び調理、配膳等にかかる業務を委託するもので、本年度、業務選定及び準備行為を行うため令和6年度から令和9年度までの債務負担行為を設定するもの)
46	半田市学校給食センター設置条例の一部改正について (令和6年9月からの新給食センターの併用開始に伴うもの)
47	半田市児童遊園及びちびっこ広場に関する条例の一部改正について (土地所有者からの土地の返還申請があり、返還することに伴い、庚申ちびっこ広場を廃止するもの)
48	新学校給食センター建設工事(週休2日交代制工事)請負変更契約の締結について (新学校給食センター建設工事に際し、労務単価等の変更による工事請負変更契約を締結するもの)
49	新学校給食センター建設電気工事(週休2日交代制工事)請負変更契約の締結について (新学校給食センター建設電気工事に際し、労務単価等の変更による工事請負変更契約を締結するもの)
50	新学校給食センター建設空調工事(週休2日交代制工事)請負変更契約の締結について (新学校給食センター建設空調工事に際し、労務単価等の変更による工事請負変更契約を締結するもの)
51	(仮称)防災倉庫建設工事(週休2日)請負契約の締結について (新病院東側に防災倉庫として建設するもので令和7年2月中旬に完成を予定する工事の請負契約を締結するもの)
52	道路整備工事(その4)請負変更契約の締結について (賃金または物価の変動に基づく請負代金額の変更、補強土壁工及び地盤改良工の変更、掘削土の処分などにより変更契約を締結するもの)
諮問1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (人権擁護委員榊原顕太郎氏の任期満了に伴い、後任として引き続き同氏を推薦するもの)
議員提出7	特別委員会の設置について (歴史・文化を活用したまちづくり調査特別委員会と公共空間の有効活用調査特別委員会を設置するもの)

審議結果 令和6年第5回定例会(6月18日～28日)

■その他の案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
報告5	専決処分の報告について(公用車両が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定)
報告6	半田市土地開発公社の経営状況について
報告7	令和5年度半田市一般会計事故繰越しの繰越しについて
報告8	令和5年度半田市一般会計繰越明許費の繰越しについて
報告9	令和5年度半田市乙川中部土地地区画整理事業特別会計継続費の繰越しについて
報告10	令和5年度半田市乙川中部土地地区画整理事業特別会計繰越明許費の繰越しについて
報告11	令和5年度半田市JR半田駅前土地地区画整理事業特別会計繰越明許費の繰越しについて
報告12	令和5年度半田市立半田病院事業会計継続費の繰越しについて
報告13	令和5年度半田市水道事業会計予算の繰越しについて
報告14	令和5年度半田市下水道事業会計継続費の繰越しについて
報告15	令和5年度半田市下水道事業会計予算の繰越しについて

■賛否の分かれた案件

議案 番号等	議案名 () 内は議案の補足説明です。	創造みらい半田										公明党		志民 ネット		みんぱく はんだ		無所属			議決 結果			
		渡 邊	山 本	芳 金	鈴 木	田 中	澤 田	鈴 木	榊 原	竹 内	沢 田	岩 田	石 川	山 田	坂 井	麻 生	中 村	小 出	伊 藤	國 弘		有 留	新 美	加 藤
		昭 司	裕 介	秀 展	英 華	嵩 久	勝	幸 彦	瑞 輝	功 治	清	玲 子	英 之	清 一	美 穂	七 海	和 也	義 一	正 興	秀 之	麻 田	保 博	美 幸	
43	令和6年度半田市国民健康保険事業特別会計補正 予算第1号 (マイナ保険証移行のためのシステム改修費等の 増額によるもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
45	半田市行政手続における特定の個人を識別するた めの番号の利用等に関する法律に基づく個人番号 の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一 部改正について(半田市遺児手当の申請時に必要 な戸籍情報の確認について、個人番号を利用した システムの運用開始に伴うもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決

表の見方: 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員

反対討論

議案43号・45号に反対

有留麻由議員

議案43号は、国民健康保険事業において、現行の保険証の廃止は行政への負担も大きく、マイナ保険証移行は、情報漏洩などの心配を抱く人も少なくないと考えることから反対です。

議案45号は、遺児手当の支給資格の認定に関する事務において、戸籍関係情報を新たにマイナンバーカードに紐づける条例改正であり市民の間でも情報流出の心配は絶えないことから反対です。

特別委員会

歴史・文化を活用したまちづくり調査

特別委員会

委員長 小出 義一

副委員長 伊藤 正興

委員 芳金 秀展／鈴木 英華

田中 嵩久／山田 清一

麻生 七海／加藤 美幸

榊原 瑞輝／岩田 玲子

公共空間の有効活用調査特別委員会

委員長 竹内 功治

副委員長 山本 裕介

委員 中村 和也／有留 麻由

國弘 秀之／澤田 勝

坂井 美穂／新美 保博

石川 英之

令和
6年度

各委員会の 年間調査テーマ

半田市議会では、各委員会が目的意識をもって調査テーマを設定し、課題の解決に向けて調査・研究を1年間行い、市に対して提言をしています。今年度の調査テーマについては以下のとおりです。

議会運営委員会

「議会事業評価について」

半田市議会では、議会改革の取組みの一つとして、先進地である茅ヶ崎市議会や多摩市議会を参考にし、平成24年度から議会事業評価を実施しています。議会事業評価は、決算審査の結果を次年度以降の予算に反映させる仕組みとして、毎年行ってきましたが、導入から10年以上が経過した今、時代に合った事業評価がしっかり行われ、当初の目的が達成できているかを改めて検証する必要があると考えています。

評価対象事業の選定から、評価、評価結果の公表、予算への反映の状況などについて、他市議会の先進事例を調査研究しながら、半田市議会に適した事業評価の在り方を考えていきます。

総務委員会

「新たな情報伝達手段について」

通信インフラは市民生活や産業経済活動に必要不可欠な基盤です。この度、「新たな情報伝達手段について」というテーマで、平時の利用と災害時における通信インフラの崩壊リスクに備え、モバイル端末やインターネット、既存の携帯電話網等を活用した新しい情報伝達手段の調査研究を行います。

近年のテクノロジーの進歩により、アプリやSNSを通じていた情報共有が可能となり、能登半島地震においても被災者や関係者間の連絡手段として幅広く活用されています。

最新の通信技術は、平時だけでなく、緊急時においても速やかな情報共有を可能とします。

今後の地震被害が懸念される半田市においても、最新技術を駆使した情報伝達手段について継続的に調査研究する事が不可欠です。

連絡手段の再整備や新たな情報共有の仕組みの再構築による円滑な情報伝達の確保に向け、調査研究を行います。

文教厚生委員会

「子どもの居場所づくり支援体制について」

近年、子どもを取り巻く環境は複雑化し、虐待、貧困、いじめ、孤独感など様々な問題を抱える子どもが増加しています。これらの問題は、子どもの自己肯定感や自己有用感を低下させ、健やかな成長を妨げる大きな要因となっています。

昔は、駄菓子屋や空き地など、子どもたちが自然と集まれる場所がありました。しかし、現代社会ではそのような場所が減少し、子どもたちが安心して過ごせる居場所の確保が喫緊の課題となっています。

本調査は、半田市における子どもの居場所づくり支援体制の現状を把握し、課題を明確にすることで、子どもたちが安心して過ごせる居場所や効果的な支援策を検討することを目的とします。子どもたちが安心して成長できる環境を整備し、未来を担う人材育成に貢献できるよう、積極的に取り組んでいきます。

建設産業委員会

「循環型社会に向けての市内の機運醸成・協働体制の仕組みづくりの強化」

循環型社会の実現のためには、個人の意識変革やそれに伴う行動変容が不可欠です。半田市は国内で88番目のゼロカーボンシティ宣言都市です。また、バイオマス産業都市でもあり、循環型社会を形成する世界のトップランナーの企業も半田市内にあります。

このように半田市は、地球温暖化対策に力を入れており、ごみ減量の目標も着実に達成しています。が、当事者としての誇りが醸成されていない、意識変革が十分に起こっていない、行動変容に繋がっていないという課題があります。

2050年までにカーボンニュートラルを実現するため、多角的な視点での取組みを実践し、一人ひとりの意識変革やそれに伴う行動変容に繋がっている先進地を視察し、循環型社会に向けた市内の機運醸成と協働体制の仕組みづくりの手法を調査研究します。

審議結果 令和6年第6回臨時会(8月9日)

■全会一致の案件

議案 番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
53	令和6年度半田市一般会計補正予算第3号 (ゼロカーボン施策として、交付金を活用し、太陽光発電設備や公用車へのEV導入等を推進するもの。)

今後の本会議の開催予定



議会本会議の予定へ

12月定例会の日程

12月10日(火)～20日(金)

※会期中の日程は約一週間前の会議で決定します。

あ と が き

9月に入り少しずつ秋めいてきました。秋と言えば、芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋…。個人的には食欲の秋です。皆さんの秋はどんな秋ですか。矢勝川の彼岸花も間もなく咲き始めます。青空と彼岸花の組み合わせは最高に美しいと思います。今年も楽しみに開花を待ちます。

(伊藤)

議会広報誌編集委員会

委員長 竹内 功治
副委員長 伊藤 正興
委員 有留 麻由／田中 嵩久
坂井 美穂／榊原 瑞輝
岩田 玲子

編集・発行 半田市議会

〒475-8666
半田市東洋町2-1
TEL 0569-84-0694
FAX 0569-24-7185
E-mail : giji@city.handa.lg.jp



半田市議会へ
QRコードはQRコード
ソーウェアの登録
商標です。